



板橋54万人・一人ひとりの
尊厳を実現する地域文化を目指して
～ESD10年の学びとこれからの実践～

日時：2014年10月9日（木）
会場：岡山コンベンションセンター

NPO法人ボランティア・市民活動学習推進センターいたばし

私たちが伝えたいこと

1. ESD前史

- 1) 3つの国際年とのつながり
- 2) 1982年から始めた「中学生ボランティア講習会」
- 3) 大原社会教育会館との共催 108回を重ねた「いたばしボランティア・市民活動フォーラム」

2. ESD10年の歩みと関連する動き

- 1) 2003年 ESD10年に向けて「自分発・地球経由・地域着」
持続可能な開発のための教育の10年 ⇒ 「ともに創る未来のための学びの10年」と読み換える
- 2) 2006年 持続可能な未来のための教育の10年を私たち区民の手で(34団体と共催)
2008年 未来のための学びのネットワークの集い(41団体と共催)
2010年 いたばしピース映画祭
2011年 いたばしピース芸術祭
- 3) 2007年 ガンジー(人権)プロジェクト
- 4) 2011年 3.11東日本大震災⇒被災地支援 岩手県陸前高田市(50回以上支援)、福島県飯舘村(15回以上の支援)
- 5) 2013年 いたばしまちの学校 18地域センターごとの学習会の開始

3. これからの実践—板橋54万人・一人ひとりの尊厳を実現する地域文化を目指して

- 1) 一人ひとりの尊厳が世界と地域をつなげる
- 2) 地域の取り組み
- 3) 世界とのつながり
- 4) おわりに

ESD前史ーその1ー

1)3つの国際年とのつながり

国連からのメッセージは世界人権宣言など、私たち市民活動の思想の基盤になっている
個人の尊厳(かけがえのない存在)に係わる人権・平和の課題が問題意識・活動の中核

- ・1981年 国際障害者年
 - ー とともに生きる(中学生ボランティア講習会、グループホームの設立など)
- ・2001年 国際ボランティア年
 - ー とともに学ぶ(当法人の発足、社会教育会館と共催など)
- ・2005年 持続可能な開発のための教育の10年
 - ー とともに創る(東日本大震災、ボランティアセンターの受託、まちの学校の推進など)

ESD前史ーその2ー

ともに生きる思想と活動の源流ー市民が連帯すれば、様々な展開が生まれる

- 1) 1982年 中学生ボランティア講習会の実施を区側に提案(企画・運営)
 - ・障がい者スポーツ大会にボランティアとして中学生(24校)100名以上が継続参加
 - ・3年目より障がい(福祉)のボランティア学習に、環境、国際理解を加えて実施



この時点で「地球市民」の視点で学び合う布石が打てた

- 2) 1998年 社会教育会館から「いたばしボランティア・市民活動フォーラム」の相談を受ける
・・・区側との協働のはじまり

ESD前史ーその3ー

1) 2001年 国際ボランティア年 当法人の発足

相互学習の力で地域社会の課題を改善していく

- ・国際ボランティアガイドブック

ボランティアを代表する人々

「ガンジー、マザーテレサ、キング牧師など」

2) 2001年 社会教育会館との共催事業を深める

- ・ガンジープロジェクト

- ・学校教育支援プロジェクト

- ・多岐にわたる課題のボランティア・

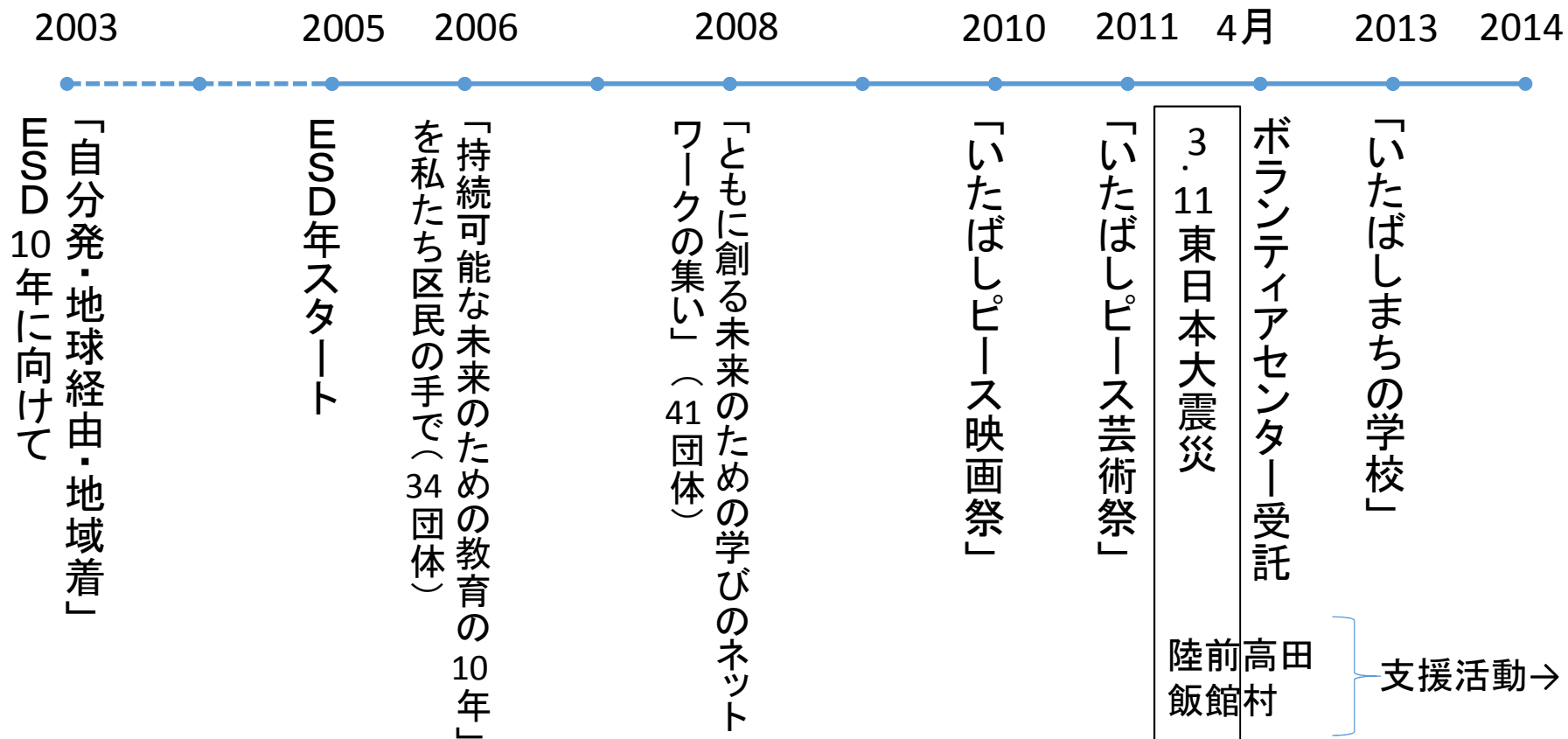
市民活動フォーラムを実施

社会の課題・世界の課題について学び合う

・108回に及ぶ「いたばしボランティア・市民活動フォーラム」の実施

分野	回数	月日	テーマ
ボランティア	第1回	1998年5月30日	世界のみならずと手をつなごうよ～NGOで国際協力ボランティア
福祉	第15回	2001年2月10日	介護保険制度の課題を考える～地域住民と行政の取り組みを学ぶ～
子育て	第50回	2003年9月3日	かけがえのない子どもたちの命と未来をまもるために
人権	第18回	2001年6月17日	日々の暮らしの中にある「差別・偏見・心のバリア」を考える
平和	第37回	2002年8月24日	「ガンジー」の足跡が語る「平和学」「人権学」「人間学」を考える
まちづくり	第7回	1999年12月5日・23日	街を歩いて“バリアフリー”を考える
ESD	第44回	2003年6月10日	「国連・持続可能な未来（開発）のための教育の10年」に向けての相互学習
教育（1）	第48回	2003年8月6日	「総合的な学習の時間」で学校と地域の連携を考える
教育（2）	第34回	2002年5月25日	「総合的な学習の時間」で問われる“学びの豊かさ”、そして私たちの関わり
災害	第99回	2012年3月24日	フィルムフォーラム「飯館村のおかあちゃんたち」
ESD	第108回	2014年9月13日・10月4日	板橋54万人・一人ひとりの尊厳を実現する地域文化を目指して～ESD10年の学びとこれからの実践～

板橋「ESD」10年 歩みと関連する動き



第44回～108回

いたばしボランティア・市民活動フォーラム（共催）

～32回板橋ふれあい祭（50余団体）（共催）

いたばしまちの学校

ESD10年に向けてとその後の取り組み

2003年

自分発・地球経由・地域着

2005年から始まる
「国連・持続可能な未来（開発）のための教育の10年」に向けて
～2003年度学びの記録～

2004年4月



特定非営利活動法人
ボランティア・市民活動学習推進センターいたばし

2008年

国連・持続可能な未来のための教育の10年記念事業
希望に輝く未来の板橋

第1回
学びのネットワークの集い!

2008年
4月26日 (土)

私たちが代表がステージに・・・
AM 10:00から PM 4:30まで
リレメッセージの一日

若者男女の
花が咲く

1,000人の異論・合意が
明日をつくる!

■と き 2008年4月26日(土) 10:00～16:30(受付9:15分～)

■と ころ 板橋区立文化会館大ホール
グリーンホール(交流懇談会) 16:30～19:00

■入場料 一般 1,000円 / 学生 500円 [中学生以下無料] | 文化会館・グリーンホール共通券

■主 催 学びのネットワークの集い実行委員会
NPO法人 ボランティア・市民活動学習推進センターいたばし
NPO法人 みんなのセンターおむすび

■後 援 板橋区・板橋区教育委員会・板橋区社会福祉協議会・板橋区医師会
いたばし総合ボランティアセンター・持続可能な開発のための教育の10年推進協議会(ESD-J)

問合せ ☎ 03(5943)1888 (市民活動センター) ☎ 03(3964)2326 (文化会館)

2010年

第1回
いたばしピース映画祭
“2010”

入場無料
平成22年1月31日(日) AM10:00～PM4:30 (受付9:30)

板橋区文化会館大ホール(裏面詳細)

展示 / 交流会: 板橋区グリーンホール 601
(PM 12:00～PM 7:00)

第1部「ありがとうの物語」
AM10:00～AM11:50
フロアチアで感動な体験をし、足がけを助ける旗の記憶を胸に、大人の心も子どもの心も優しくなれる。だっだーの物語

第2部「沈黙を破る」
PM0:30～PM2:40
パレスチナ・イスラエル占領地区・元兵士たちが語り始める領土争いの事実。「若さるのをやめるとき、僕は感動になった」

第3部「静かなる革命」 & 平和絵本(スライド・朗読)
PM3:30～PM4:10
「もっさいないキャンペン」で知られる、ノーベル平和賞受賞者のワンガリ・マ・タイシャのグリーンベルト運動の環境ドキュメンタリーなど
平和絵本: 絵本「砂漠の国からやってきた羊飼いの人、ムハマドさん」から、世界の第2次「希望の学びアワード」が得意ないたばし区民の朗読によるスライド上映

主催:「第1回いたばしピース映画祭“2010”」実行委員会
実行委員長 大塚節之

後援: 板橋区・板橋区教育委員会

いたばし
いたばし市民活動学習推進センター

参加・協賛団体 (順不同) 平成21年11月30日現在 ※特)は特定非営利活動法人 ※社)は社会福祉法人
・特) ボランティア市民活動学習推進センターいたばし・特) みんなのセンターおむすび・社) 国際親善児童青年協議会・トライアングル
・特) いたばし(ひまわり)学館(特) 板橋区にも生きる福祉協議会・板橋福祉のまちづくり会・社) 三共(たつの子地域センター)
・青いしぐを交える会・特) 未来の光・東アジア留学生交流協会・特) エコ・コミュニケーションセンター (ECOM)・特) しまNPO推進協議会
・住まいと環境改善ネットワーク・平和を創る講座・全国児童会議メンバー・カレントイベントズの会・板橋区身体障害者福祉協会
・板橋区障害者サポートボランティアの会・メアールケアアクト(2010子育てのついで)子育てのついで実行委員会・第28回板橋区民会・第28回板橋区民会・第28回板橋区民会

ガンジー(人権)プロジェクト(15年間)の果実

非暴力を追求する平和学習から生み出されるもの(平和絵本)
市民活動の根底に脈打つ、人権・平和の追求

2007年



2010年



3.11東日本大震災 被災地支援 (継続支援)

1) 岩手県陸前高田市(2011年4月1日から)

- ・災害ボランティアセンターに専任コーディネーター2人を常駐
- ・要援護者(避難所では対応できない高齢者)支援
- ・サロン活動支援
- ・仮設住宅(棚つけ作業)支援
- ・七夕まつり支援

2) 福島県飯舘村

- ・仮設住宅(棚つけ作業)支援
- ・サロン活動支援
- ・児童・生徒への支援(竹とんぼ)

3) アンテナショップ

- ・アンテナショップによる両被災地の物産店を販売支援継続中

被災地支援

陸前高田市、飯舘村の支援



陸前高田市の七夕祭



仮設住宅の棚付け事例



飯舘村の除染現場の前で
集合写真

「いたばしまちの学校」

課題を解決するためには、地域住民一人ひとりと地域の様々な資源（団体、NPO、事業所、機関など）のつながりと協働で！

・「いたばしまちの学校」【18地域センター（約3万人）ごとの相互学習】の実施

- ①災害時の課題 NHKスペシャル都市直下型地震「延焼運命共同体」視聴後、相互学習
- ②高齢者の課題 NHKスペシャル老人漂流社会「終の住処はどこに」視聴後、相互学習
- ③今後の地域課題を話し合う

・「いたばしまちの学校」から抽出されたもの「普段からの関係づくり」

2年目から

- ・「地域の支え合いシステム（地域包括ケアシステム）」の構築に向かう
- ・地域センターごとに「ボランティアビューロー」を目指す

「いたばしまちの学校」

みんなが
主役!

板橋地域センター管内にお住まいの皆様へ

みんなが
笑顔!

(地域)

いたばしまちの学校

地域とあなたにとって大切なこと、いっしょに考えませんか?

さまざまな課題のある現代、求められるのは地域力ではないでしょうか。
地域で様々な活動を行う住民、団体、行政などの“つながり”がさらに地域を豊かにする、
との思いから、地域のみなさんと一緒に学び、考える3回連続の講座を開催します。

課題その一 災害時の助け合い
課題その二 老人漂流社会「終の住処」

会場：板橋地域センター レクリエーションホール
費用：無料(定員80名申込順)
※いずれの回のみ参加も可能

第1回
8月20日(水)
18:30~21:00
都市直下型地震
『延焼運命共同体』
が問い掛ける課題を通して、
「阪神淡路大震災」、「東日
本大震災」を教訓に平時から
の助け合いを考えます。
講師：加藤孝明氏
東京大学准教授

第2回
8月27日(水)
18:30~21:00
老人漂流社会
『終の住処はどこに』
が問い掛ける課題を通して、
住み慣れた地域で安心して暮ら
し続ける地域づくりを考えます。
講師：鈴木蘭一氏
板橋区役所前診療所

第3回
9月6日(土)
13:15~16:00
私たち地域のつながりと
支え合い(協働)を進める
ために、これからの
まちづくりを考えます。
講師：塩野敬祐氏
淑徳短期大学
こども学科学教授



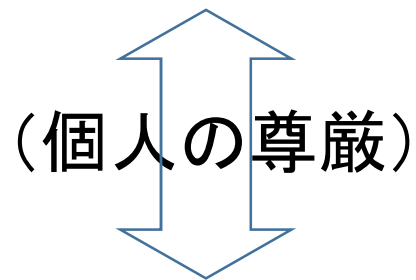
- 共 催 いたばし総合ボランティアセンター／板橋区
- 後 援 板橋区町会連合会／板橋区中学校PTA連合会／板橋区小学校PTA連合会
板橋区民生・児童委員協議会／板橋区社会福祉協議会／板橋区医師会
東京消防庁板橋消防署
- 協 力 板橋区民生児童委員協議会／加賀おとしより相談センター／加賀福祉屋／デイサービスかたぐるま
かたぐるまの家／グループホーム若葉寮／グループホームパークサイド双葉寮／コミュニティ銭湯湯
けやきの会／(特)ボランティア・市民活動学習推進センターいたばし
- 問合せ・申込み いたばし総合ボランティアセンター TEL 03-5944-4601 FAX 03-5944-4602

これからの実践—その1—

板橋54万人・一人ひとりの尊厳を実現する地域文化を目指して
—尊厳が世界と地域をつなげる—

一人ひとり(生命)の尊厳を実現しようとする思いと
行動が地域と世界を結ぶ

- ・支援を必要とする住民を地域で支えるシステムづくり



- ・矛盾と不条理に苦しんでいる世界の人々とのつながり

これからの実践ーその2ー

高齢者福祉は後退国(なりつつある)

地域の中で住民ならびに地域の様々な主体が力を発揮できる
しくみづくりと実践が公助の質を高める

- 尊厳ある地域(文化)のバロメーター
苦しんでいる人を見捨てない(課題を孤立させない)
- 多様で内発的な力を引き出すシステム
相互支援(支援する側・支援される側の多様性)による
- NHKスペシャル
2足歩行の人間のDNAに受援力と支援力が組み込まれている、能動的
内発的な力を発揮できるシステムづくり
→地域の支え合いシステム(地域包括ケアシステム)

これからの実践ーその3ー 世界とのつながり

世界の人権・平和に係わる知性と行動につなげる。
ワイマール憲法のもとで、何故ドイツ国民は
ヒットラーの独裁に隷属したのか

- ・ガンジー → 非暴力 …平和の絵本2冊
- ・ヨハンガルトウング → 構造的暴力 …福島原発への視点
- ・ハンナアーレント → 全体主義の起源 …相互学習の内容
上映日11/24 グリーンホールにて

おわりに

今までのようにコツコツ積み重ねていく忍耐で、板橋のメンバーは、これからも市民発の地道な活動を続けていきます